

STDチェッカー 検査結果ご通知

氏名		採取日	2022年1月5日		
生年月日		性別	男性	結果報告日	2022年1月7日
ID		検査タイプ	E (5項目)	検査実施機関	アルバコーポレーション エニーラボラトリー

過日行いました検査の結果は下記の通りです。(1/全1ページ)

検査項目	判定結果	コメント
クラミジア	陰性(-)	(TaqManPCR法) 今回の検査では異常が認められませんでした。
淋菌	陰性(-)	(TaqManPCR法) 今回の検査では異常が認められませんでした。
HIV (エイズ)	陰性(-)	(HIV抗原抗体スクリーニング/CLEIA法) 今回の検査では異常が認められませんでした。 詳しくは、下記のコメントをご覧ください。
梅毒	陰性(-)	(TP抗体/CLEIA法) 今回の検査では異常が認められませんでした。
B型肝炎	陰性(-)	(HBs抗原/CLEIA法) 今回の検査では異常が認められませんでした。

HIV抗原抗体スクリーニング検査 判定結果は下記の通りです。

結 果 陰 性 (-)

あなたの結果について

先日あなたが受けられたHIV抗原抗体スクリーニング検査の結果は「陰性」でした。この結果は、あなたがこの検査を受ける3ヵ月前まではHIVに感染していないことを意味します。

しかし、3ヵ月以内に新たな感染の機会があった場合は今回の検査ではわかりません。その際は、最後の感染の機会から3ヵ月以上たってからもう一度検査をすることをおすすめいたします。HIVに感染すると、通常4週間後くらいから血液中でHIVに対する抗体が検出されるようになります。しかし個人差もあり、4〜8週間くらいかかる人もいます。よって、確実に「陰性(-)：感染していないこと」を確認したい場合は、もう少し余裕をみて3ヵ月以上たってからスクリーニング検査を受けることが、国のガイドライン上で示されています。

今後の予防について

HIV感染症/エイズは性感染症の一つであり、セックス以外の日常の接触でHIV感染はありません。感染予防のためには、血液・精液・腔分泌液が粘膜に直接触れないことが大切です。セックス(オーラル・肛門も含む)の際は、必ずコンドームを正しく使用してください。

また、他の性感染症(クラミジア・淋菌・梅毒・ヘルペス・尖圭コンジローマなど)に感染していると、粘膜に炎症を起こしやすくなり、HIVに感染する可能性が数倍高まります。今後も感染の不安があった時は、パートナーも含め性感染症の検査を積極的に受けることを心がけてください。

※上記の判定結果にかかわらず、体調の変化や何らかの症状を感じられる場合は、医療機関を受診されることをおすすめいたします。

※この検査結果表の内容は、検査を受けられたご本人様のものであり、また印刷後の結果表はご自身が厳重に管理されることをご承諾いただいた上で、ウェブサイト上から印刷されたものです。

この検査サービスに関するお問い合わせ先

株式会社アルバコーポレーション

大阪市中央区平野町1-8-7 小池ビル10F

郵送検査コールセンター 0120-712-680 (携帯からは06-6228-8142)

月曜～金曜(祝日は除く)9時～17時

Email: info@std-lab.jp

